

次回のくれよんは6月の発行予定です。おたのしみに～！(*^_^*)♪

🎸 ギターで弾き語りボランティアライブ 🎸

シンガーソングライターむらしまけいすけの村島佳佑さんが、平成30年2月14日に小佐々町こさざちやう新田公民館で開催されている、ふれあいいきいきサロン「サークル新田」にて、ボランティアライブを行われました。

歌謡曲の“上を向いて歩こう”や、童謡の“ふるさと”などの他に、村島さんのオリジナル曲を披露されました。

「サークル新田」の皆さんと一緒に歌い、曲に合わせて踊るなど、楽しい時間を過ごしました。

曲の終わりには大きな拍手が起こり、「今日は来てもらえてよかった」と皆さん笑顔で話されていました。

村島さんは「一人でも多くの方に生演奏に触れていただき、体験と感動をお届けしたい」との思いから『はなうた運動』と題し、佐世保市内の福祉施設や病院、教育施設等を中心に無料コンサートを提供されています。

『はなうた運動』へのご依頼は【Tel:090-9614-0032 E-mail: hanauta0221@gmail.com 村島さん】までどうぞ。



シンガーソングライター
村島 佳佑さん



サークル新田の皆さん

あなたらしさで広がるボランティア くれよん KUREYON



2018年度 第1号
平成30年4月1日

特集

地域に 密着した ボランティア



なかざとかいぜちく
中里皆瀬地区
なかざとちやうしもこうみんかん
中里町下公民館
「生活支援ボラン
ティア」活動の様子

デイサービスでネイルケア

去る3月2日、佐世保市社会福祉協議会せちばるかいこしぎやうしよ 世知原介護事業所 デイサービスからの依頼で、利用者の方へネイルケアをしてもらえるボランティアとして陣内 直子さんをおつなぎしました。

当日は、デイサービスの女性利用者13名の方がマニキュアを塗ってもらい、一緒に活動されたご主人からハンドマッサージを受けられました。

好きな色を選んで塗ってもらった爪を光にかざして「キレイになった」と嬉しそうに眺める皆さん。

マニキュアを初めて塗ったという方もおられ、華やいだ笑顔で記念撮影をされていました。



話し相手ボランティアフォローアップ研修を開催しました

平成30年2月23日、させぼ市民活動交流プラザにて「話し相手ボランティアフォローアップ研修」を開催し、話し相手ボランティア登録者24名が参加されました。

講師に長崎地方法務局佐世保支局職員 山下 恭司 民事専門官を迎え、「相続と遺言の基礎知識について」をテーマに講話が行われました。

参加者からは「とても分かりやすく丁寧な講習でした」「相続や遺言など、相談をどこに行けばいいのかがわかり、よかったです」などの感想をいただきました。



山下 恭二氏

情報募集中です！

あなたが街で見かけたボランティアさんや、もっと皆さんに知ってもらいたい活動など、くれよんに紹介したいボランティアの情報を募集中です。

ぜひ、お気軽にボランティアセンターまでご連絡ください。

あなたの情報をお待ちしています！



佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)
〒857-0864 佐世保市戸尾町 5-1 させぼ市民活動交流プラザ 1階
TEL : 0956-23-3905 / FAX : 0956-42-0102 E-mail : kureyon@sasebo-shakyo.or.jp
時間 / 10:00~18:45 (火~土) 10:00~17:00 (日)
休館日 / 月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日



「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

地域に密着したボランティア



誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりに向けた「生活支援体制整備事業[※]」が始まっています。

今回は、平成28年4月より佐世保市社会福祉協議会が、佐世保市よりモデル事業として委託を受け実施している、中里皆瀬地区の中里町下公民館^{しもこうみんかん}での取り組みをご紹介します。



【※「生活支援体制整備事業」とは、民間企業やNPO、ボランティアや地域住民などと連携しながら、地域における高齢者支援の担い手やサービスの開発を行い、高齢者の社会参加および生活支援・介護予防の充実を推進することを目的として、生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置を行う事業です。】

中里町下公民館では、佐世保市社会福祉協議会職員^{やまもと}の山本生活支援コーディネーターが、まずは地域で必要とされている支援(日常生活で困っていることなど)を、住民の皆さんと連携して聞き取り調査しました。

その結果、『現在は日常生活を送れているが、今後の生活を不安視している人が多い』ことがわかり、今後も地域で安心して過ごしてもらえるように“生活支援ボランティア”を立ち上げることになりました。

その後、地域の方の声を聴くためのワークショップや、ボランティア養成講座を開催し、13名の方が生活支援サービスボランティアとして登録され、平成29年11月より活動を開始しました。



ゴミ出し支援の様子
決まった時間に玄関に出してもらうことで、利用者が元気であることがわかります。



買い物支援の様子
利用者は新聞の折り込み広告等を見て買い物の依頼をし、レシートで購入した物の確認をします。

生活支援ボランティアの活動

ボランティアの活動内容は、一人暮らしの高齢者の方が毎日の生活の中で一番困っているとされた、“ゴミ出し支援”と“買い物支援”で、現在3名の方がサービスを利用されています。

この活動で利用者とボランティアさんのつながりができ、安否確認の見守りにもなり、大変喜ばれています。

ボランティアさんに活動をしての感想を聞いてみると「活動は苦になりません。支援を必要とする方に、今後も協力していきたい」と優しく話してくださいました。

山本コーディネーターは「活動者の方と利用者の方のそれぞれの思いを大切に、地域の方々と連携しながら、活動を支援していきたい」と今後の意気込みを語ります。

すべての人が安心して暮らしていける地域になるためには住民の方々の協力が必要です。

皆さんが暮らしている地域がどのような地域になってほしいか、改めて考えていく大切な時期になっているようです。



調理の様子



心を込めた料理が何よりのごちそうです！

食事サービスボランティア料理教室

平成30年1月31日、食事サービスを行っているボランティアの方々を対象とした、料理教室^{さきべ}を崎辺地区公民館で開催しました。

食事サービスとは、一人暮らしの高齢者等に食事を提供することで、孤独感の解消や見守り、地域とのつながりを作ることを目的とした取り組みで、佐世保市内では現在56団体が活動をされています。

今回開催した料理教室では、高齢者へ提供する献立を実際に作り、栄養バランスや食材の保存方法、食事サービスボランティアの役割などを学びました。

参加者からは「大変参考になり、よかったです」「様々な献立のアイデアをいただいたので、今後の活動に活かしたいです。」とのご感想をいただきました。



佐世保の「子ども食堂」



家庭環境や経済的な理由により、満足な食事をとれなかったり、一人で食べている子どもたちなどに、あたたかい食事や居場所を提供する「子ども食堂」の取り組みが広がっています。

平成30年1月30日、相浦公会堂にて「福祉推進協議会^{ふくしすいしんきょうぎかい}ブロック別研修会」を開催し、講師に筑紫女学園大学^{ちくし}准教授^{おおにし}大西良氏と、長崎子ども食堂ネットワーク事務局^{かざやま}親子いこいの広場もくもく代表^{ゆり}数山有里氏をお迎えして、子どもの貧困についての講話と、子ども食堂の事例発表が行われました。

事例を発表した数山氏は「佐世保の特色として、自衛隊世帯や^{たんしんふにん}単身赴任、シングルマザーなど、一人で育児をする人が多い傾向があります。これからの子ども食堂が貧困に特化するのではなく、誰にとっても居心地が良く、相談できる場、助け合える人たちと出会う場になればいいなと思っています」と話されました。



会場の様子



数山有里氏

長崎いのちの電話 相談ボランティア募集

あなたのやさしさを自殺防止の電話相談ボランティアに生かしてみませんか？

- 応募資格 22歳から68歳までの男女
※所定の研修(養成研修)を終了し、相談員として認定を受けます。
- 応募期間 平成30年4月1日(日)～5月31日(木)当日消印有効
- 受講期間 前期/平成30年6月2日～9月22日 後期/平成30年10月～平成31年9月
- 会場 長崎県総合福祉センター(長崎市茂里町 3-24)
- 受講料 前期/8,000円 後期/24,000円(別途宿泊研修費 10,000円程度が必要です)

相談員応募者には受講申込書と募集要項をお送りします。下記の事務局までお問合せ下さい。

社会福祉法人

長崎いのちの電話事務局 ☎095-843-4410

※受付時間
9:00～17:00(平日のみ)

